

春の使者「蔦の蔓」が顔を出し始めました。これが出ると春が来たなあ〜と実感しますね。
先月は雪が2度も降り、皆さん雪かきで苦勞されたのではないのでしょうか。雪が積もったときに大変なことは常緑樹の雪払い。これをしないと先日のような重たい雪では枝が耐えられず折れてしまうことも。。。その点落葉樹はそこまで神経質にならなくてもよいのは利点ですね。
ただ、剪定をしていない枝数の多い庭木はリスク大です。やはりどんなものでも利点もあれば欠点もありますので大切な事は「リスク管理」ですね。



展示場入口のモデルガーデンを予定通り一新しました。
2024年は「コスヤシ」をシンボル的に真砂土でグラウンドカバー。リゾート風に仕上げ 板壁を加えてアメリカンフェンスを設置しガラッイメージが変わりました。ライトも設置してあるので夜はライトアップされてオシャレです♪



六方石を使用して立体感を出しています。是非参考にしてくださいね。



若干色が違うだけでそっくりのこの猫ちゃん。夕方から夜にかけていつも現れますが当園のマリちゃんとは比較的仲良しで一切喧嘩もしないから兄弟？親子？彼氏？と物議をかましていますが...真相は不明です。

薪割り



弊社のお仕事の開始は本当に朝早く、出勤してくるのは6:15分、夏はもっと早いかも……。早起きは三文の徳と言いますが、午前中の時間を長くしていますね!ただ冬は極寒でそんなときに必需となるものが『薪』です。薪は秋深まるころから準備します。今年は画期的な薪割樹を買ったので少しは楽になるかも!? 暖を取りながら朝のコミュニケーション 一般的に言えば朝礼みたいなものでしょうか。薪も一束700円くらいで売っているから薪ストーブのご自宅はコストがかかりますね。ひとみちゃんが「売ればいいじゃないですか!」って言ったら専務が「ばか!あれもこれもできるか!全部燃すわ!」と。朝だけじゃなくて昼もあなたが餅焼いたり食い物焼いたりして使うでしょう!と。(笑)



燃し樹で出た灰は、土に混ぜて使うんです。
灰はアルカリ性なので、酸性の土壌を中和してくれます。
主成分としてカリウムやカルシウム、マグネシウムなどを含みミネラルが豊富なため、優れた天然肥料として使えるので有効活用ですね。

大量入荷しました

2023年の人気樹木ランキングでも掲載させていただきましたが、世の中に庭木と呼ばれる数はおよそ400あると言われています。これは大分類の話ですが)その庭木にも毎年トレンドというものがありますが、ここ3年ほどダントツにトップの座を譲らない庭木は「アオダモ」です。当園のアオダモは数というよりその樹形にこだわったものばかりを入荷しているため、それはズーッと見ても迷うは当然です。私たちもわかりませんから。。。樹の選び方はそれぞれですがご自宅を一番わかって人が「これだ!」と思った樹がそうなのでしょうね。今年は、およそ50本ほどのアオダモとその他アオハダ、陰樹ですがナツハゼ、春に可愛い花を咲かせるウグイスカグラ、爪楊枝の樹で知られるクロモジなど総数80本ほど入荷しました。もう嗅覚が鋭い方は早速下見にきて選ばれている方も沢山いらっしゃいます。当然良いものから売っていくので早いもの勝ちの世界です。是非お天気を見ながらお庭造りやシンボルツリーをご検討されている方は早めにいらしてご予約をお勧めします。



春の市場開始♪
3/7(木)～本年の仕入れが開始となります。今年も沢山の庭木、下草などを仕入れ、品揃えを強化して参ります。

毎週木曜日は市場の日で不在となることがありますが、展示場はご自由にご見学頂けます。

お庭のご紹介

甲府市 S 様

数十年前に植えたソヨゴが枯れてしまったとのことで、伐根作業と新たにオリーブを迎えました。伐根作業におきましては、エントランスの外構とギリギリで破損させてしまう可能性があるため難しい工事でしたが無事綺麗に伐根でき、施主様にも大変喜んで頂きました。

Before



その他オリーブの剪定や仕掛け途中のお庭が数件ありましたがオリーブの剪定は専務が写真を撮り忘れてしまったとのことで・・・
その他のお庭は今後完成次第随時 ご紹介させていただきます。

姿勢

結構な頻度で野菜の話をするのですが、「物を作る」という姿勢は、庭木の管理にも通じるものがあります。社長は植木もやりながら300坪の菜園を構え、農協に出荷しています。その姿勢づくりというか...なんでそんなに頑張るのか?とよく聞かれるそうですが、先にも言うように野菜を作ることは庭木を管理することにも通じるほか、人にあげたり、体を動かして丹精込めて作った野菜を出荷したり 上手にできると自分も嬉しいし人も嬉しい・・・と

社長は昔から「世話好き」だそうです。「世話好き、くれ好き」と専務が以前言っていました。頑張る人を応援しますね。先日は、1月に施工させていただいたお客さんの家の家庭菜園に再びお邪魔して耕して柵を作ったりしていました。サービス精神旺盛ですね。私たちも良く社長のお野菜を貰いに行きます★ありがたい♪



雪の日には除雪業を6:30～。下が泥濘でお客様が歩きづらいからとマットを貼ったりずっと動いていますね。

継ぐ---

専務は社長を「世話好きだから」と言っていたが、専務も先日ご自宅のお隣さんの「やまぼうし」がボサボサで、お隣さんも「困ってるんです」といわれたそうですが頼まれてもいない剪定をパバッとやったそうです。ご近所さんから「お金払います!」と言われ「頼まれてないもん!」と勝手に人の家の樹を切ってるだけ!ってこれ犯罪か!!と笑ってどっか行っちゃいました。

雪が降れば近所すべての雪かきを、夏になれば草を刈って、庭木の剪定まで...ご近所さんはみんな感謝していますね。専務、あなたもそっくりですよ。社長は専務のことを「世話好きだ」

もうそっくり!

「この木は小さいのにあの大きい樹よりお値段が高いの?」

この質問がたまにあります。逆に大きいと高いという理論は?と専務が聞きなしていました。確かに...。そこで専務に詳しく聞いてみました。樹形や市場価格というものもあるけどわかりやすく言うと、例えば成長が遅い樹は高値で取引されているそうです。成長が遅いということは、販売できる大きさに育つまでの時間がかかるためそこまで育てる維持管理費も乗ってくるわけだから納得。ざっくりと言ってしまえば1年で10cmしか成長しない木は1年で50cm成長する木の5倍の価格になります。ワインも同じですね。販売できるまでに掛かる年数がそのまま価格になっています。最近人気のあるシマトネリコは成長の早い植木です。安いというのもあり成長も早いので手を掛けずともすぐに出荷できるでしょうね。ただ、成長の早いということは放っておくと日照や日常の動線に支障をきたすことになるため、維持管理のための手入れが欠かせません。ローメンテナンスがよいということであれば、価格の高い木、即ち成長の遅い木をお勧めします。「邪魔だから伐採してほしい」という依頼もありますが、そうなる前にできたこと、業者が植栽スペース、その植木の特性を理解し、それを施主に十分お伝えできていれば命あるものを救えたはずです。「シンボルツリーにはシマトネリコが人気!」と宣伝するばかりでなく、その後の維持管理の重要性を伝えることが重要ですね。そんな専務の家にもシマトネリコありますが綺麗に管理されています。ちゃんと管理できれば良い樹だぞ!と。庭は施工時が完成ではありません。そもそも命ある植木が含まれる庭というものには完成形というものはなく、その後の維持管理によって完成度がより高まっていくものです。